



THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO, SUNRISE

T O S Y ' S

東京サンライズ・ワイズメンズクラブ

設立 1989年2月18日
チャーター認証日 1989年5月2日
チャーターナイト 1989年5月28日

TOKYO YMCA YAMATE CENTRE
2-18-12, NISHIWASEDA, SHINJUKU-KU, TOKYO
PHONE 03-3202-0321

第一例会：第2木曜日 午後7:00
(但し、12月・5月は山中湖センターで土日)
第二例会：翌土曜日 午後4:00

2017年8月号ブリテン 第325号

2017-2018年度主題(Theme)

IBC：台北ユニオン DBC：東広島・京都プリンス

To acknowledge the duty that accompanies every right
強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う
「ともに、光の中を歩もう」 (ノルウェー)
「ワイズ運動を尊重しよう」 (台湾)
「広げよう ワイズの仲間」 (熱海クラブ)
「あずさ部はっと活かそうぜ！」 (東京西クラブ)
「ヶ・セラ・セラ」で行こう

会長 江原 修一
副会長 小山 憲彦
書記 長津 徹
会計 柴田 弘子
直前会長 御園生 好子
担当主事 大津 桃子

Our Motto 国際標語
国際会長 Henry Grindheim
アジア会長 Tung Ming Hsiao
東日本区理事 栗本 治郎
あずさ部部长 大野 貞次
サンライズ会長 江原 修一

8月第一例会のお知らせ

とき 8月19日(土曜日) 17:00~
ところ 西東京市保谷駅前「三陽」
かいひ 5,000円
とうばん (弐組)柴田、江原、小山(憲)、深田(晶)

◆プログラム

開会点鐘	会長
ワイズソング・ワイズの信条	一同
ゲスト・ビジターの紹介	会長
協議・報告・連絡事項	会長・各担当
ハッピーバースデー	会長
会食・懇談	一同
にこにこ・一分間スピーチ	出席者全員
閉会点鐘	会長

本音で語ろう会 例会の続きを“本気”で“本音”で
未定

7月以降の予告

9月14日(木) 第一(納涼)例会	山手センター	19:00~
9月23日(土) 第二(お散歩)例会	場所未定	12:00~
9月30日(土)~10月1日(日)	富士山例会	15:00~
10月7日(土)~8日(日)	DBC西条酒祭	13:00~
10月12日(木) 第一例会	山手センター	19:00~
10月21日(土) あずさ部部会	東京西クラブ	11:30~
10月24日(火) 第二例会	山手センター	19:00~

7月第一例会報告

小山久恵

新しい年度に入り、キックオフ例会が、7月13日(木)19時から山手センターで開かれました。この日は大野あずさ部部長の公式訪問で、東京西クラブから多くのメンバーが出席くださり、ビジター、ゲストも数人、サンライズもいつもの顔ぶれがほとんど揃い、総勢20人と賑やかな例会となりました。

江原新会長の開会点鐘で始まり、ワイズソング、ワイズの信条を一同で唱え、新旧会長の交代式の後、新会長に挨拶して頂きました。内容は7月号ブリテンに載っています。ゲスト・ビジターの紹介があり、江原会長の友人で、練馬区富士見台デイサービスセンター所長の城条尚美さんから、「もしも介護が必要になったら」と題する卓話が始まりました。

【次頁へ続く】



【卓話者の城条尚美さん。】

8月のハッピーバースデー

1日 深田 敏子 さん
31日 内迫 実知子 さん

ワイズの信条

自分を愛するように隣人を愛そう
青少年のためにYMCAに尽くそう
世界的視野を持って国際親善を計ろう
義務を果たしてこそ権利が生ずることを悟ろう
会合には出席第一、社会には奉仕第一を旨としよう

7月例会出席者

在籍 (内広聴会員 3名)	15名
メン	10名
メネット・コメット	1名
ゲスト・ビジター	13名
出席率	83%

介護保険のサービスを受ける際の手続き、施設選びのポイント、介護者の心構え等をお聞きしました。出席者のほとんどがすでに親を介護した経験があり、各々の体験を思い出しながら、質問もたくさん出ていました。卓話の後、河野さんの友人の井上貴美子さんが、出張リハビリのお仕事を立ち上げたとの事で、その内容等をお話になりました。このお仕事を広めるため、城条さんにデイサービスセンターへの紹介をして頂くという道ができたようです。



【部長公式訪問のご挨拶をされる大野あずさ部部长(東京西)。】

テイスティングタイムの間、大野部長に部長公式訪問のご挨拶をして頂き、その他、前年度会計報告、夏まつりの案内、長野クラブが応援する、白馬五竜アルプスお花畑散策の募集、ハッピーパースデー、東京YMCA報告をこなして、ニコニコをせつついて出席者全員に回し、最後、会長の閉会点鐘で無事終了しました。

出席者：江原会長、大谷、小山(憲)、小山(久)、河野、菰淵、菅原、長津、御園生、大津主事

石井さん・大野さん・神谷さん・篠原さん・本川さん(東京西)、長谷川さん(東京八王子)、小原さん(東京たんぼぼ)、城条尚美さん(卓話者)、井上貴美子さん(河野)、城条博司さん(江原)

り始めました。折角の花火大会が中止になるのでは?と思いましたが6時頃に開催の花火が上がりました。

花火大会が始まる前に(お酒が入る前に)第二例会を始めました。

- ・8月の納涼例会は8月19日(土) 17時より、保谷駅近くの「三陽(みはる)」で開催
- ・9月の卓話者は元サンライズクラブの小野田 繁氏「消防団の話(仮題)」
- ・9月のお散歩例会の相談。
- ・ブリテン原稿割り振り

今年も特等席で花火見物が出来ました。

正村さんありがとうございました。

出席者 江原修一、小山憲彦、菰淵光彦、菰淵恵美子メネット、菅原美紀子、長津 徹、御園生好子、小野田 繁(参遊會)、正村 満(参遊會)、橋口祐子(御園生友人)

あずさ部第一回 ヤッホー 評議会

菅原美紀子

7月15日土曜日

松本市 歯科医師会館

出席 小山憲彦、久恵、菰淵光彦、菅原美紀子、長津 徹

当日は3連休初日の土曜ということもあり、新宿からのあずさは満席。自由席に何とか座れ、朝9時出発しました。

松本駅で他の車両に乗っていた一行と合流し、まずは腹ごしらえは信州はお蕎麦でしようとお蕎麦屋さんを探し、お蕎麦を頂きました。

お腹を満たした後、会場到着。程なく評議会が始まりました。押し気味の時間で会は進みました。一部議論はありましたが、評議会部分は終了しました。

続いて、軽食を取りながら、グループディスカッションが行われ、各クラブで困っていることなどを話しました。内容としては例会の現状やメンバーの人数のことなどを話し、普段お話しすることのあまりない方と話が出来、有意義な時間でした。



終わった後は、恒例?の2次会。武蔵野多摩クラブのメンバーらと、特に松本らしく無い駅前のチェーンの居酒屋でしばし歓談となり、あずさの自由席でゆったりビールを飲みながら、新宿へ向ったのでした。

7月第二例会と隅田川花火

御園生好子

7月第二例会は恒例の参遊会員正村満さん宅での隅田川花火大会見物を兼ねて行いました。

昼間から怪しい雲行きでしたが5時頃になるとついに雨が降

大野部長公式訪問に同行して(1)

菰淵光彦

7月4日(火)18:30から甲府21クラブのキックオフ例会にあずさ部大野部長の公式訪問に神谷書記とともに同行して参加しました。折から台風3号上陸の中、大野部長運転の車に同乗し

て例会会場の甲府市にある割烹石川に到着。第一部ではクラブ総会がおこなわれ大野部長の挨拶のあと、総会で松村直前会長から佐藤新会長への引き継ぎ式があり、今年度のスタートが切られました。先月の東日本区大会の表彰でEMC-M最優秀賞を受賞、理事表彰の優秀クラブ賞を受けるなど大活躍のクラブだけあって、勢いを感じさせられる例会でした。ゲストで見えていた米長晴信さんの8月入会がすでに決まっています、恒例行事のぶどう棚の下の納涼例会が更に引き締まった例会になるのは間違いのないと思いました。男性会員100%の甲府21クラブですが、納涼例会をお手伝いされているメネットの方々とお会いできることを楽しみにしながら、台風を追っかけながら帰宅しました。部長お疲れ様でした。

7月13日(木)19:00~21:00、東京サンライズクラブキックオフは山手センター101号室で行われました。あずさ部部長公式訪問として大野部長をはじめ、あずさ部の多くのクラブから、おおぜいのワイズメンに参加いただきました。江原新会長のキックオフ例会はお知り合いの城条尚美さんによる「もしも介護が必要になったら一介護が必要になったときのミニ知識」と題した卓話でテンポ良く、綺麗なカラーの挿絵入りのレジメを配布され分かりやすくお話しされました。例会後は高田馬場的美趣園で大野部長を囲んで本音で語り合いました。

7月18日(火)18:30から山手センター202号室で東京山手クラブのキックオフ例会に参加させていただきました。上妻会長のご挨拶のあと、大野部長が今年とはくに会員増強にポイント置き、減員プラス2を目標に楽しい例会をすることをお話しされました。上妻会長は地域社会でのプログラムを作り会員増強に結びつけることを話されました。食事に続く卓話は、山手センター主任主事の星住秀一さんが「東京YMCAと山手コミュニティセンターの新年度方針」をプロジェクターでパワーポイントを映しながら、①ブランディング推進、②災害対策「9月災害スタディ」、③フレンドシップファンド、④中高生をユースリーダーに、⑤スタッフの働きがい、などを話されました。その間、となりの部屋からは若い方々の元気な笑い声が壁を越えて漏れ聞こえ、「リーダー達が議論している声です。」と隣室を見に行き、戻られた星住さん。YMCAの中期計画「若い生命を豊かに育てる」市民社会の創出を、自ら身をもって守られている、その姿に感激しました。

7月20日(木)18:45~21:00、いつもの「あんさんぶる荻窪」4階第2教室で、本川新会長のキックオフ例会は行われました。東京西クラブの高嶋直前会長から本川新会長への交代式は6月のクラブ総会で済んでおり、本川会長の開会点鐘で例会が始まりました。まず、この日の卓話者でもある、日本YMCA同盟の総主事神崎清一さんの転入式が行われました。卓話は、「わたしのウェルネス」というレジメを配布、参加者に対して質問形式でYMCA理解から始まり、パワポ画面と関連しながら分かりやすいテンポで、様々な事例を話にされて、質問も出されました。まとめとして“青年を育てることで私達も変わってくる、ボランティアの気持ちを育てる、そして平和を創ることを”と訴えた。神崎総主事は20年前には大阪の大学生を連れてホノルルマラソンに参加、練習もしないで5年連続4時間から5時間台の記録を残し完走出来たのは、バスケットボールの選手だったので健脚だったからではないかと、わたしは想像することができました。

私は、公式訪問を全クラブには行けませんが、できる限り回って交流して報告するつもりです。

アジア太平洋地域大会報告

長津 徹

タイ/チェンマイで7月21日~23日開催された、第27回地域大会に出席しました。一昨年の26回京都大会は太平洋地域と合併前なので、今回は初のアジア太平洋地域大会です。私は恒例のゴルフコンペ、モスキート杯参加のため19日10時30分羽田発タイ航空バンコク行きに搭乗すべく7時45分池袋西口発の乗り合いバスで羽田に向かいました。山手トンネルが延伸したおかげで8時25分には国際線ターミナルに到着、無事チェックイン出来ました。バンコクで乗り換え、18時30分にチェンマイに到着しましたが、この国内便では江東クラブの藤井さんや熱海クラブの栗本理事キャビネットの面々と同じ便でした。しかしホテルが違って、現地ガイドの出迎えは私だけでした。

7月20日早朝、集合場所のエンプレスホテルまで約6分の道のりをキャディバッグを背負って歩きました。クラブバスでなぜかチェンマイ南方にある、ノースヒルゴルフクラブへ向かいました。池と水路だらけの難コースに皆四苦八苦で私は6個、多い人は16個池ぼちやした人もいました。気温は27度くらいですが、湿度が高く熱中症予防が必要でした。幸い早いスタート時間で、割合涼しい時間にプレーできました。13組/52名という盛大なチャリティコンペとなりました。日本からは西日本区1名、東日本区9名の参加でした。収益はロールバックマラリアへの献金となります。

21日はエンプレスホテル集合でチェンマイ市内観光へ。堀と城壁で囲まれた旧市街でお寺を巡りました。昼食中にスコールにあったのですが、レストランに水が入ってきたり、道路が冠水したりしました。エンプレスに戻ってよいよ大会登録・開会式です。フラッグセレモニーなどいつものプログラムがあり、16時頃子ども達のパフォーマンスが終わったところで自分のホテルに戻り、プールでのんびり、バーで乾杯の予行演習。18時に会場に戻ってIPAP(直前会長)ナイト参加です。タイダンスなどのパフォーマンスを見ながらのディナーを楽しみ、そのあと旧市街に繰り出しました。



【IBC台北ユニオンのメンバーと旧交を温めました。】

22日は午前中のプログラム分科会をキャンセルして、ホテルでのんびりした後午後のエクスカッションに参加しました。遊覧船に乗り様々な歴史的建造物を川面から見ながらピン川を遡上し、ファーマーズハウスというテーマパークのようなところで、タイ美人のダンスやパフォーマンスを見ながらおやつを食べ、ビールを飲みました。

【次頁「ひよこ」下段へ続く】

西条便り

今月は休載します

今月の京都プリンスクラブ Vol. 68

京都プリンスクラブ 廣井武司さん

7月のスタートは恒例となった京都YMCAサバエ教育キャンプ場の開設ワークでした。参加者が少なく暑い中懸命に働きました。

楽しくワークが少しずつ体力の衰えとともにしんどくなってきました。みんなが参加して仕事を分け合いたいものです。

これが今期の第一例会でした。

強調月間：CS(Community Service)

地域奉仕委員会

◇活動としてのCS(地域社会奉仕)

各クラブは区のCS資金の募金・運用活動に参加すると共に、関係YMCAと協力してその地域社会の求めに応える奉仕活動の実践を心がける。従ってCSとは、大は地域社会の、小は近隣社会の隣人への奉仕活動であるといえる。

◇CS資金の募金・運用活動

お年玉付き年賀ハガキの当選切手シートを抛出することにより集められて来たが、近年一人当たりの目標額が定められたことにより現金での抛出がほとんどとなっている。東日本区の目標額は一人当たり1,250円、あずさ部の目標額も一人当たり1,250円となっている。東日本区では日本YMCA同盟の申請に基づき、あずさ部では部内各クラブのCS活動を支援するために、クラブから申請のあった事業内容を検討して、助成金を配分している。

山中湖センターだより

山中湖センター 大塚一樹さん

皆様こんにちは。

今年も猛暑が続いておりますが、皆さまはお変わりなくお過ごしでしょうか。

山中湖センターは毎日キャンパー達の声で溢れかえっております。先日の台風の大雨により湖畔に設置していた栈橋の向きが変わってしまいました。大きな被害はなかったので一安心ですが、山名湖の水位が高くなったので大雨が降るたびに山中湖の様子を見に行く日々です。

暑い日々が続いております。キャンパー達の体調も心配ですが皆元気にキャンプを行っていただいています。

これからもスタッフ一同丸となりとなり運営していきたいと思っております。これからも何卒よろしく願いたします。

編集後記

(Non.O)

新年度早々プリテンの発行が遅れており、申し訳なく思っています。心を入れ替えて来月は何とか月初めにとっております。

YMCA News

山手センター 大津桃子さん

- 7月5日からの豪雨で大きな被害を受けた九州北部の被災者支援のために、全国YMCAは「九州北部豪雨緊急支援募金」を開始した。7月19日に東陽町駅周辺3カ所で街頭募金を実施し、1時間あまりで52,305円が寄せられた。
- 7月11日に「賛助会年会・アドバイザー会」を学士会館にて開催し、賛助会企業22社と、アドバイザー、役員、委員、職員など、計57名が集った。第1部では、氏家純一賛助会会長(野村ホールディングス株式会社名誉顧問)の挨拶、事業報告、法人会員13社の表彰に続き、副総主事の星野太郎より「日本YMCAブランディングプロジェクトについて」と題して講演があり、ブランドコンセプト等について紹介された。
- 東京ー北京YMCAパートナーシップの一環として、7月24日～28日(4泊5日)の日程で山中湖センターにて「北京YMCA国際交流キャンプ」を開催した。31名(大人13名、子ども18名)が来日し、ハイキング、カヌー、キャンプファイヤー、野外料理などのプログラムを体験した。社会体育・保育専門学校生2名と中国籍のにほんご学院留学生2名がボランティアリーダーをつとめた。昨年に続き2回目の開催となった。
- パートナーシップの関係にあるソウルYMCAが主催する「第8回キッズワールドカップイン韓国」に、東京YMCA江東センターのサッカーチームに所属する5名の小学生が参加する。8月15日～19日の日程で、ソウルYMCAのキャンプ場に宿泊し、アジア各国の小学生とともにサッカーの交流試合を楽しむ他、観光や親睦会等を通じて交流がはかれる。
- 1998年に開設した「YMCAチャイルドケアセンター」(世田谷区公認保育室)が20周年を迎えた。8月28日には卒園児や保護者を対象に、ホームカミングデーを開催する。
- 今後の主な行事日程
 - ・夏まつり 8月26日 (東陽町センター)
 - ・熊本支援チャリティーコンサート
(クラウドイオ・ブリツィ オルガンコンサート)
9月7日 18:30～ (日本基督教団渋谷教会)
 - ・国際協力一斉街頭募金
9月16日 (新宿駅周辺)
 - ・第31回インターナショナルチャリティーラン
9月23日 (都立木場公園)
- 深 悼 謹んで哀悼の意を表します。
 - ・日野原重明氏(アドバイザー) 7月18日召天(105歳)

お散歩例会

お散歩委員会

9月の第二例会はお散歩例会です。当初、銀座の路地裏探検を考えていましたが、残暑が厳しそうなので、どこか涼しげなところに変更したいと思っております。この際、このところのテーマである、坂道・階段・路地裏・小路、ここが道なの！を棚上げして、目先の変わったところに行こうかと思っております。皆さまのアツと驚くアイデアをお待ちしております。

残暑お見舞い

申し上げます